

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40		-	3.5
1	音環境					3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
	1.1	室内騒音レベル		—	3.0	0.50	3.0	0.50		
		1.2	遮音		3.0	0.50	3.0	0.50		
	1		開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
	2		界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30		
	3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	-	3.0	0.20		
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
	1.3 吸音				3.0	-	3.0	-		
2	温熱環境						2.6	0.35		5.0
	2.1	室温制御		—	3.0	0.50	5.0	1.00		
		1	室温		3.0	0.63	-	-		
		2	外皮性能		3.0	0.38	5.0	1.00		
		3	ゾーン別制御性		3.0	-	-	-		
	2.2 湿度制御			—	1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式			—	3.0	0.30	-	-			
3	光・視環境					3.0	0.25	3.3	1.00	3.2
	3.1	昼光利用		—	3.0	0.30	4.0	0.30		
		1	昼光率		3.0	0.60	5.0	0.50		
		2	方位別開口		-	-	3.0	0.30		
		3	昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
	3.2 グレア対策			—	3.0	0.30	3.0	0.30		
	1	昼光制御	—	3.0	1.00	3.0	1.00			
	3.3 照度			—	3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御			—	3.0	0.25	3.0	0.25			
4	空気質環境					3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
	4.1	発生源対策		—	3.0	0.60	3.0	0.63		
		1	化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00		
	4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38		
	1	換気量	3.0		0.50	3.0	0.33			
	2	自然換気性能	3.0		-	3.0	0.33			
	3	取り入れ外気への配慮	3.0		0.50	3.0	0.33			
	4.3 運用管理				-	-	-	-		
1	CO ₂ の監視	-	-		-	-				
2	喫煙の制御	-	-	-	-					
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-	3.3
1	機能性					3.0	0.40	4.2	1.00	3.8
	1.1	機能性・使いやすさ		—	3.0	0.40	5.0	0.60		
		1	広さ・収納性		3.0	-	3.0	-		
		2	高度情報通信設備対応		3.0	-	5.0	1.00		
		3	バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
	1.2 心理性・快適性			—	3.0	0.30	3.0	0.40		
	1	広さ感・景観	—	3.0	-	3.0	0.50			
	2	リフレッシュスペース	—	3.0	-	-	-			
	3	内装計画	—	3.0	1.00	3.0	0.50			
	1.3 維持管理			—	3.0	0.30	-	-		
	1	維持管理に配慮した設計	—	3.0	0.50	-	-			
	2	維持管理用機能の確保	—	3.0	0.50	-	-			
2	耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9
	2.1	耐震・免震・制震・制振		—	3.0	0.50	-	-		
		1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
	2	免震・制震・制振性能	3.0		0.20	-	-			
	2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-		
	1	躯体材料の耐用年数	3.0		0.20	-	-			
	2	外壁仕上材の補修必要間隔	3.0		0.20	-	-			
	3	主要内装仕上材の更新必要間隔	3.0		0.10	-	-			
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0		0.10	-	-			
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0		0.20	-	-			
	6	主要設備機器の更新必要間隔	3.0		0.20	-	-			
	2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		
	1	空調・換気設備	3.0		0.20	-	-			
	2	給排水・衛生設備	2.0		0.20	-	-			
3	電気設備	3.0	0.20		-	-				
4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-					
5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-					

3	対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
		1 階高のゆとり	-	3.0	-	3.0	0.60	
		2 空間の形状・自由さ	-	3.0	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		-	3.0	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-		
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-		
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-		
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-			
6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.0
1	生物環境の保全と創出		-	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制		標準計算ルートより専有部UA値0.45以下	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		専有部平均BEI値0.76/ZEH-M Oriented取得予定	4.4	0.50	-	-	4.4
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.4	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.6
1	水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1	節水	-	3.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1	材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2の排出率89%	3.4	0.33	-	-	3.4
2	地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1	大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	-	3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	－	○	○	－	－	○	－	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		○	○	－	－	○	－	－	○	－	－	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		－	○	－	－	○	－	－	○	－	○	○	－	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		－	－	3.0	－	－	1.0	1.0	－	1.0	1.0	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		－	－	－	－	1.0	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	11.0		2.0	－	2.0	3.0	－	－	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	1.0		－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	－		－	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	4.0		－	－	－	－	－	－	－	－	3.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		－	1.0	－	1.0	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	－	－		1.0	－						
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		－	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	窓の日射熱取得率(η) -			
U値(W/m2K)	窓システム -	屋根 -	外壁 -	床 -
住戸部分	窓システムU値 3.0	外皮UA値 0.5	η AC 1.3	η AH 0.4
屋光率	2.1~2.9%			
自然換気有効開口面積率	—			

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	－	/人	病床	－	/床	シングル	－	ツイン	－
コンセント容量	－	VA/㎡							
天井高	－	m							
リフレッシュスペース	－	レストスペース	－						
想定耐用年数	－	年							
想定必要間隔	－	年							
想定必要間隔	－	年							
想定必要間隔	－	年							
階高	－	m							
壁長さ比率	－								
床荷重	－	N/m2							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	—	建物緑化指数	—				
空地率	—	水平投影面積率	—	地表面対策面積率	—	舗装面積率	—

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m		－ 断熱等性能等級		等級5 相当			
自然エネルギー直接利用量		0 MJ/年㎡		採光を満たす教室数 ー		採光を満たす住戸数	100.0%
				通風を満たす教室数 ー		通風を満たす住戸数	100.0%
				太陽光 .0kW 太陽熱等		.0kW	蓄電池 .0kW
BEI/BEI _m	再エネ有	－	無	－	オフサイト再エネ有	－	－
一次エネルギー削減率	再エネ有	24%	無	24%		－	

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	—				
特定調達品目	—	エコマーク商品	—	自治体指定の特定品目等	—
使用比率	—				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	—	隣棟間隔指標 R_w	—						
地表面対策面積率	—	屋根面対策面積率	—	外壁面対策面積率	—				
見付面積 S_b	—	卓越風向と直交する最大敷地幅 W_s	—	m	基準高さ H_b	—	m		
緑地	㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡